

伝える。伝わる。

小学校五年

私は、総合の時間に「支えあうから人」のテーマで福祉について学習しています。その中で、視覚障害者の体験でブラインドウォークをしたり、聴覚に障害がある方を迎えての手話教室でお話を聞いたりしました。

ブラインドウォークでは、ブラインドウォークをする人と、介助する人がペアになって階段や運動場を歩いてみました。ブラインドウォークの体験中は、「今はどこを歩いているんだろう。」とか「前に何かあるのか不安だな。」と感じながらしました。視覚障害者の方は、ふだんの生活の中でこんな思いで過ごしているんだなということがわかりました。

手話教室の中で、私が特にすごいと思ったのはその方が通っていた学校のチャイムのことでした。学校のチャイムはライトの色でお知らせするそうです。黄色のライトは休憩時間、緑は集合や授業時間だそうです。赤は緊急時、地震などがあったときで、学

校の避難訓練の時には赤のライトが光ったそうです。私は毎日の生活の中でいろいろな工夫をして過ごしているんだなあと思いました。

私が一番印象に残っているのは、「伝わらないと思ってあきらめない」とおっしゃったことです。私も、目が見えなくなったり、耳が聞こえなくなったりしたら、きっと心配になったり、自分の伝えたいことが伝えられるか不安になったりすると思います。でも、その方がおっしゃっていたように、「伝わらないと思ってあきらめない」「伝えるための工夫をする」ようにしていきたいです。

私はいろいろな障害がある人たちもみんなが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」が増えていって、不安や心配が少しでも減り、みんなが楽しく明るく過ごせる世界になるように自分ができることを考えていきたいです。